

# 第3回常任理事会会議録

- 日 時 平成19年6月15日(金)午後3時～同5時35分
- 場 所 日本歯科医師会 10階会議室
- 出席者 <会 長> 江藤一洋  
<副 会 長> 黒崎紀正、井出吉信  
<総務理事> 住友雅人  
<常任理事> 高津茂樹、川添堯彬、相馬邦道、高木忠雄、  
平井敏博、土屋友幸、江里口 彰、宮崎 隆  
栗原英見、荒木孝二
- 第21回日本歯科医学会総会  
<準備委員長> 伊藤公一
- 日本歯科総合研究機構  
<研究部長> 石井拓男
- 欠席者 <常任理事> 佐藤田鶴子、恵比須繁之

[議長 江藤会長]

## 1. 開 会

江藤会長から、開会の宣言がなされた。

## 2. 挨拶

江藤会長から、挨拶がなされた。

## 3. 報 告

### 1) 一般会務報告

住友総務理事から、次の資料に基づき、一般会務報告がなされた。

一般会務報告(平成19年5月14日～6月14日)

第2回常任理事会会議録(平成19年5月14日開催)

### 2) 第21回日本歯科医学会総会準備状況報告

伊藤準備委員長から、次の資料に基づき、準備状況報告がなされた。

□第21回日本歯科医学会総会関係報告（平成19年5月14日～6月14日）

3) 国際歯科研究学会日本部会（JADR）理事会報告

栗原常任理事から、次の資料に基づき報告がなされた。

□2007年度第2回JADR理事会日程（2007年5月28日開催）

4) 会計現況報告

高木常任理事から、次の資料に基づき会計現況報告がなされた。

□学会会計（平成19年4月1日～平成19年5月31日）

□第21回日本歯科医学会学術大会会計

（平成19年4月1日～平成19年5月31日）

□学会会計（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

□第21回日本歯科医学会学術大会会計

（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

5) 重点計画の推進

(1) 歯科医療への学術的根拠の提供体制の構築

①「歯周病の診断と治療のガイドライン」改定検討部会の運営等

住友総務理事から、標記部会の進捗状況が会議録に基づき説明された。

②「有床義歯の調整・指導及びブリッジの適応症と設計並びにリベースのガイドライン」改定検討部会の運営等

住友総務理事から、標記部会の進捗状況が会議録に基づき説明された。

③歯科医療技術の評価・再評価の提案書への対応（整理・分類）

住友総務理事から、標記について、5月25日および5月29日に対象学会代表者を集めヒアリングが開催された旨、会議録に基づき報告がなされた。また、現在提案書の再提出を受付けており、6月25日にとりまとめを行う予定であることが報告された。

④歯科診療ガイドラインの作成

住友総務理事から、標記について、机上配付した「エビデンスに基づ

く一般歯科診療における院内感染対策 実践マニュアル」が出版された旨報告がなされた。

## (2) 歯科医療技術革新の推進

### ▶ 歯科医療技術革新推進協議会委員の推薦依頼について

住友総務理事から、標記協議会について、現在日本歯科商工協会へ委員の推薦（3名）を依頼している旨、資料を基に報告された。

また、この協議会では、①国民向けのシンポジウムの開催、②日本歯科理工学会の答申（歯科医療器材の開発・改良における諸問題（承認・認可）への対応）を受け、アクションプランや専門分科会へパブリックコメントを求め対応していくこととした。

## (3) 学会機構改革の推進

井出副会長から、標記について現況報告がなされた。

## (4) 専門医制度の確立

### ① 日本矯正歯科学会の専門医資格認定団体に係る基準該当届

住友総務理事から、日本矯正歯科学会が厚生労働省に「矯正歯科専門医」の申請をするにあたり、本学会への事前審査依頼が届いており、これについて専門医制協議会で協議していく旨報告がなされた。

### ② 日本歯科放射線学会の専門医資格認定団体の届出に関する経過について

住友総務理事から、標記について、資料を基に経過報告がなされた。

## (5) 国際交流の推進

江藤会長から、来年2月にタイロイヤルデンタルカレッジで開催される年次大会への講師派遣要請を内々でいただいております、これについて個別に対応したい旨、報告がなされた。

また、来年開催される「日中歯科医学大会 2008」に関する事前打合せのため、来年1月に中国・西安および北京への出張を予定している旨報告がなされた。

- 6) 第43回ISO/TC106会議への委員派遣について  
住友総務理事から、標記会議について、本学会より岡野理事を派遣する旨、資料を基に報告がなされ、既に回答が済んでいることを確認した。
- 7) 第45回ISO/TC106（歯科）年次会議の日本開催について  
住友総務理事から、標記について資料を基に報告がなされた。  
会 期：2009年10月5日（月）～10日（土）  
（開会式・歓迎レセプションを10月4日（日）夕刻に予定）  
会 場：大阪国際会議場（グランキューブ大阪）  
リーガロイヤルホテル  
ホスト団体：社団法人 日本歯科医師会  
日本歯科材料器械研究協議会
- 8) 「日本糖尿病協会歯科医師登録医制度認定研修会」へのご協力のお願  
いについて  
住友総務理事から、標記について資料を基に報告がなされた。
- 9) 食育推進宣言  
住友総務理事から、標記について資料を基に報告がなされた。
- 10) 第1回・第2回医道審議会医道分科会診療科名標榜部会報告  
住友総務理事から、標記について資料を基に報告がなされた。
- 11) 日本スポーツ・健康づくり歯学協議会参与のご依頼について  
住友総務理事から、標記について資料を基に報告がなされ、既に江藤会  
長が就任することで回答が済んでいることを確認した。
- 12) 歯科医療器材の開発・改良における諸問題（承認・認可）への対応につ  
いて  
宮崎常任理事から、標記諮問に対する答申の期日について報告がなされ  
た。

1 3) 平成20年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞及び若手科学者賞受賞候補者の推薦について(依頼)

住友総務理事から、標記受賞候補者の推薦について資料を基に報告がなされた。なお、この件については、既に専門分科会への情報提供が済んでいる。

1 4) UMINオンライン論文投稿・査読システムの運用の公募について

住友総務理事から、標記受賞候補者の推薦について資料を基に報告がなされた。なお、この件については、既に専門分科会への情報提供が済んでいる。

1 5) 研究業績褒章(上原賞)候補者推薦について

住友総務理事から、標記候補者の推薦について資料を基に報告がなされた。なお、この件については、専門分科会へ情報提供することとした。

1 6) 「なくそう減らそう糖尿病 なくそう減らそう歯周病シンポジウム」への後援名義使用について

住友総務理事から、標記後援名義使用について資料を基に報告がなされ、既に使用許可の回答が済んでいることを確認した。

○依頼元：日本歯科医師会会長 大久保満男

1 7) 国立大学教育研究評価委員会専門委員候補者の推薦について

住友総務理事から、標記委員候補者として、本学会より佐藤常任理事ならびに荒木常任理事を推薦する旨、資料を基に報告がなされ、既に回答が済んでいることを確認した。

1 8) 会長報告(日本歯科医師会2回理事会報告等)

江藤会長から、日歯第2回理事会(平成19年5月24日開催)報告がなされた。

1 9) その他

江藤会長から、後期高齢者医療のあり方（主に在宅医療の推進）等について報告がなされた。

#### 4. 協 議

##### 1) 第78回評議員会の開催について

住友総務理事から、標記開催について諮られ、日程等については継続審議とした。

##### 2) 日本歯科医学会認定分科会承認基準の一部改正

住友総務理事から、標記承認基準の一部改正について諮られ、同基準の改正は、登録申請の手続き及び資格審査等を迅速かつ円滑に処理することを目的としていることを確認し、改正条文の添削を含め継続審議とした。

##### 3) 重点計画の推進

###### (1) 歯科医療への学術的根拠の提供体制の構築

###### ▶ 歯科診療ガイドラインの作成

江藤会長から、標記ガイドライン作成に関わる本学会の方策と、厚生労働省の予定しているガイドラインのあり方や作成の方向性が示された。

###### (2) 歯科医療技術革新の推進

江藤会長から、標記重点項目の実現に向け、「歯科医療器材の開発・改良における諸問題（承認・認可）への対応について」の諮問を日本歯科理工学会へ依頼している。また、歯科医療機器産業ビジョンの今後の展開に関わるスケジュールの提案があり、全会承認した。

###### (3) 学会機構改革の推進

① 専門分科会資格審査委員会答申書（専門分科会）の取り扱いについて

② 同（認定分科会）の取り扱いについて

井出副会長から、標記答申書の取り扱いについて諮られ、協議の結果、専門分科会資格審査委員会の慎重かつ厳正な審査結果を尊重し、専門分

科会に2学会、認定分科会に10学会の新規加入を承認した。

なお、「加入可否に係る審査結果」中の、「日本口腔病理学会については、(中略)学会名に変更することが、望ましい」とする付記事項の取り扱いについて、概ね下記のような意見が述べられた。

- 名称変更を条件として加入を可とするならば、分科会加入後の名称変更に関する条文の整備を急ぐ必要がある
- 名称変更を条件とした加入は避けるべきで、あくまで申請時の名称で加入の可否を決定すべきである
- 名称変更を条件として加入を認めると、今後、名称以外の変更にまで波及する恐れがある
- 今回の加入は見送り、次回名称変更した上で再度加入申請をしてもらうのが良い

また、日本接着歯学会については、専門分科会、認定分科会のいずれにも加入が可とされているが、今後もこのようなケースが発生することが考えられることから、今のうちに対応を審議しておく必要があり、来る第78回評議員会対応も含め、下記のとおり主な意見が示された。

- 上位を採択するという意味で、専門分科会への加入が可決された時点で、認定分科会への加入については諮らないこととする。この場合、対応する条文を新たに承認基準に盛り込み、評議員会対応としては十分説明を要する。

- どちらに加入するかを、当該学会に選択させるべきである
- 意見交換の後、本件の取り扱いは継続審議とした。

なお、両答申書に盛り込まれた「提言」については、その重要性に鑑み、今後常任理事会および理事会において慎重協議することとした。

また、専門分科会資格審査委員会委員長(野首教授)に、「提言」の精神を十分反映した提案書の取りまとめを依頼することを承認した。

#### (4) 専門医制度の確立

##### ▶ 専門医制審議会の設置および運営について

住友総務理事から、標記について諮られ、協議の結果、本件の委員構成に再考を加え、さらに有識者を加えることとし、人選については会

長一任とした。

#### (5) 国際交流の推進

##### ▶ F D Iにおける日歯支援体制の構築

###### ① F D Iプロジェクト提案提出について

江藤会長から、日歯会長より依頼のあった標記提案の提出について諮られ、協議の結果、このプロジェクト提案の提出を、専門分科会に協力要請することとした。

###### ② F D I ドバイ大会総会において審議予定の F D I 政策声明案の検討について

江藤会長から、日歯会長より検討依頼のあった標記政策声明案の検討について諮られ、協議の結果、大阪歯科大学（F D I 学術委員会委員）の神原教授に精査を要請することとした。

#### 4) 事業計画の推進

##### (1) 心肺蘇生法歯科医療関係者研修検討委員会（仮称）への諮問について

住友総務理事から、標記委員会への諮問（案）について諮られ、原案どおり決定した。

なお、委員については、構成人数も含め会長一任で調整を図ることとし、次回常任理事会へ提案することとした。

##### (2) 学際領域問題検討委員会の設置および運営について

井出副会長から、標記委員会の設置および運営について諮られ、協議の結果、学部横断的なカリキュラムの作成や、診療ガイドラインの作成に向け、既に問題が直面しているインプラントや摂食嚥下、さらには歯周病と糖尿病の問題を加えた検討を本委員会で結論づけることを承認した。

##### (3) I C D - 1 1 への改訂に向けた対応について

住友総務理事から、標記への対応について諮られ、国際疾病分類における歯科分野の充実を図るべく対応を確認した。



(4) 平成19年度専門分科会助成金の配分について

住友総務理事から、標記について諮られ、原案どおり全会承認。

(5) 役員派遣について

住友総務理事から、役員派遣について諮られ、別紙のとおり決定した。

▶別紙参照

## 5. 閉 会

井出副会長から、閉会の辞が述べられた。